

ネットワーク環境の切り替えは自動でやってほしい!の巻

無線LANが普及したおかげでノートPCを使う場所が増えた人は多いのではないだろうか。今までは「ノート」と言っても机に置きっぱなしだったのが、会社内や外の無線スポットなど、いろんなネットワーク環境で気軽に使えるようになった。そこで、不便に感じるのが利用する環境によってネットワークの設定をいちいち変えないといけないことだ。今回はそんな設定変更の煩わしさから解放される便利なツールを紹介しよう。



text: 五後ケース

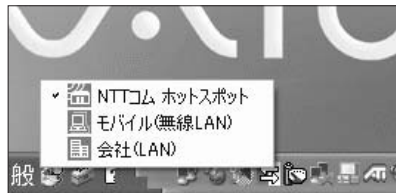
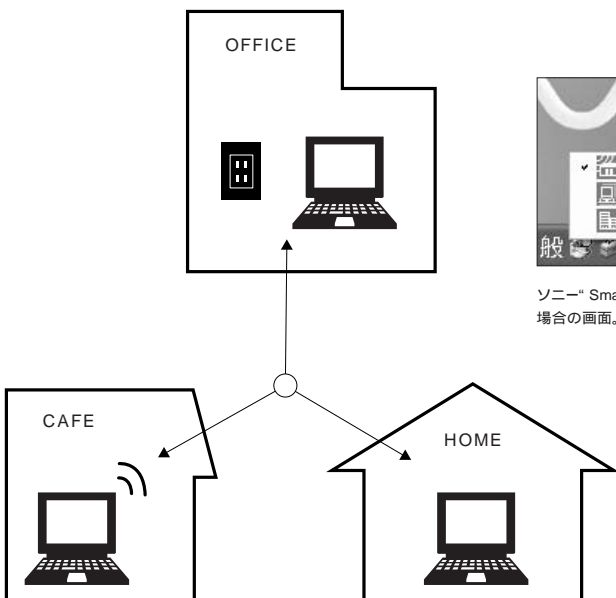
ノートパソコンにネットワーク切り替えツールが標準装備される

会社も自宅もDHCP一発で接続できるから何も苦労してないという人もいるかもしれない。でも、セキュリティを考慮しようとする、たとえばIPアドレスは固定にして外部とはプロキシ経由でアクセスするほうが望ましいので、会社や自宅がそのような環境になっている人は、移動することにIPアドレス、ネットマスク、DNS、プロキシ、そして無線LAN関連項目などなど、数多くの項目を毎回設定し直す必要があってとても面倒だ。フリーソフトウェア

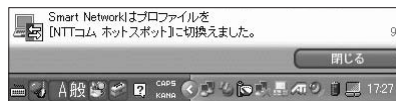
ではネットワーク切り替えユーティリティは以前からあったが、無線LAN項目にまで対応しているものはなかった。このため、面倒くさがるの筆者は、以前はノート内蔵のインターフェイスのほかに外付けのインターフェイスカードを常に複数持っていて、カードを変えることによって環境の切り替えをするという無駄な投資をしていた。

筆者のように以前から不便だと思っていた人はそれなりにいたはずだが、やっと最近になって、みんなが同じように感じ始めてくれたのだろうか、昨年くらいからノートパソコンに各社が独自のネットワーク切り替えユーティリティをバンドルして発売するようになった。ようやく便利な状況が訪れて来た。とは言っても、新しく機種を買い換えないとこれらのユーティリティが利用できないのがもどかしいところなんだけど……。

ひとまず、シャープの“ブロードバンドチェンジャー”、ソニーの“Smart Network”、すでに無線LANを使っている人向けの単体の製品であるソースネクストの“どこでも無線LAN”を使ってみた。



ソニー“Smart Network”。手動でタスクトレイから切り替える場合の画面。



自動切り替えの場合は、ネットワークに接続されるとポップアップで画面が立ち上がる。

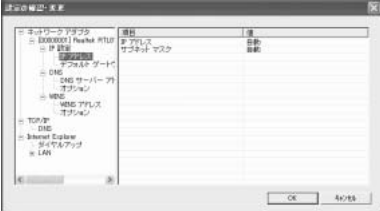
とっつきやすくて簡単

シャープ Mebius MURAMASA に付属の
[**ブロードバンドチェンジャー**]

“ブロードバンドチェンジャー”はネットワークの設定のみを切り替えるユーティリティで、切り替え可能項目は使用するネットワークインターフェイス、ESS-ID、WEPとIPアドレス関連。特にこだわりのない普通の環境ならこれだけ切り替えられれば十分な内容だ。このユーティリティ設定は簡単で、あらかじめ設定しておいたネットワーク環境をgetボタンで吸い上げ、アイコンと名前を決めるだけ。切り替えはマニュアルでアイコンを押すか、タスクトレイから指定すればいい。基本的なところはちゃんと押さえつつ、使いやすいシンプルなユーティリティとなっている。



ブロードバンドチェンジャーの基本画面。



設定確認用のウィンドウ。設定可能な項目が一目瞭然。



タスクトレイでの切り替え画面。



[Mebius MURAMASA PC-MM1-H3S]
<http://www.sharp.co.jp/>
【販売価格】 約19万円

単体でも販売してほしい充実した内容

ソニー バイオノートに付属の
[**Smart Network 2.0**]

使った感想は「これは便利だ!」の一言に尽きる。切り替えができる基本的な内容は“ブロードバンドチェンジャー”の内容にプラスして、プロキシー、プリンター、VPNなども含まれているので、これだけあればほかは必要ないはず。切り替えは自動的に行うので、何も考えなくてもつながった状態してくれる。また、NTTコミュニケーションズのHOTSPOTにも最初から対応していて、あらかじめIDとパスワードを入力しておけば、HOTSPOTに行っても電源を入れるだけで、即サービスが利用できるようになる。さらに、ネットワーク切り替え時に登録したアプリケーションを立ち上げさせることもできる(壁



[バイオノート 505 PCG-V505R/PB]
<http://www.vaio.sony.co.jp/>
【販売価格】 約25万円

紙や起動音も変えられる)。たとえばブラウザを設定するなどの工夫をすれば、他の無線スポット事業者でも半自動ログイン程度のはできてしまう。これ以外にも、PCカードスロットにPHSなどが挿入されると自動的にダイヤルする機能などが提供されていて、モバイルユーザーにはもう至れり尽くせりの内容だ。

あえて難点を挙げるとすると、設定画面が無愛想でとっつきにくいことか。まあ、そんなことはどうでもよくなるほど機能が充実している。

ちなみに、このソフトは現行のバイオノートに付属しているが、旧製品ユーザーにも機能は少ないが旧バージョンがソニーのサイトで提供されているので、物は試してダウンロードしてみたいかが?



Smart Networkの基本画面。設定項目は多種にわたる。

ウィンドウズ2000/Me/98SEユーザーに

ソースネクストの
[**どこでも無線LAN**]

単体でパッケージ販売している製品なので、どのノートパソコンでも利用できるのが一番のポイント。ただ、切り替える内容は基本的に無線LANに関する部分の対象なので、ウィンドウズXPユーザーは必要ないかも。しかし、自動接続の有無などを指定できたり、VPNクライアントを自動的に立ち上げたり、ESS-IDは同じでWEPが違う場合でもプロファイルの管理がしやすかったりする点では多少便利だ。ちなみに、最近は無線LANカード付属のユーティリティで同等の機能を提供しているものもある。



[どこでも無線LAN]
<http://www.sourcenext.com/>
【販売価格】約4,200円 対応OS:ウィンドウズXP/Me/98SE/2000

今回評価した製品以外にもIBM ThinkPadには“Smart Network”とほぼ同機能の“IBM Access Connections”が付属しているし、NECの一部製品にも“ブロードバンドチェンジャー”とほぼ同機能の“ネット簡単切り替えツール”が付属している。今後新たにノートパソコンを買う際の多少の参考になればと思う。



無線LANシステムを自前で構築するプロント 飲食産業の新しいサービスのかたちを見た

「昼はコーヒーショップ、夜はショットバー」で有名なプロントは、以前よりリナックス カフェ ディ プロント秋葉原店で無線LANサービスを提供していて、結構にぎわっていた。他店でも展開しないのかと思っていたところ、3月から無線スポットを本格的に展開していくとのニュースが入ったので、株式会社プロントコーポレーション 管理本部 鈴木浩之部長とリナックス カフェ ディ プロント秋葉原店の石川淳店長に今後の展開を伺った。

前向きに試行錯誤を繰り返す 技術の進歩に合わせて 柔軟なサービスを

2月上旬の執筆時点ですでに9店舗で無料の無線LANサービスを提供している。電源やプリンター（現在は一部店舗）を用意し、小さな店舗でも必要であればアクセスポイントを複数設置するなど、秋葉原で1年以上やってきた経験を生かしてモバイルユーザーが必要と感じているポイントをちゃんと押さえたサービスを目指している点がまずは特徴だ。

ただし、それ以外の部分は試行錯誤を行いながら決めていく。まず3月以降はチケットなどによる単位課金制へ移行する予定だが、最初は実験的に行ったうえで夏までには最適な課金形態を決定するという。アクセスポイントやアクセスコントロール機器は現在も複数の製品を試していて、常に最適な構成を模索している。無線LAN関連技術は進歩が速いし、無線スポット事業も適切なビジネスモデルが確立していないので、状況に応じて柔軟に対応できるように前向きに試行錯誤していくというのがプロントの方針のようだ。

より多くのメリットを求めてNeoMobileと提携 ビジネスマンを強く意識したサービスへ

プロントはNTT-MEが提供する無線スポットサービスのNeoMobileと提携した。しかし、独自の料金体系や付加サービスを提供する予定で、アクセスポイントやバックエンドの機器までも自前で構築する。

ここまでお話を伺っていて、なぜNeoMobileと提携したのかさっぱりわからなくなってしまった。理由を伺ってみると、今まで蓄積した経験やノウハウを元に、プロントのメインの顧客層であるビジネスマンに最適な無線スポットサービスは何かを考えた場合、自社単体でやるよりも、柔軟な料金体系を確立できてしかもローミング先としてNeoMobileと提携するほうがメリットが多いと判断したためだという。他の事業者と提携する選択肢もあったのだが、料金体系などプロントに最適なサービス展開が難しいため断念したとのことだ。この点は他の無線スポットを提供しているチェーン店舗などとはまったく思想が異なり、飲食店そのもののあり方まで考えさせられる大変興味深いものだ。



コンテンツ配信やVPNも視野に プロント独自の サービスに期待

店舗によっては、プリンターや大型のプロジェクターを用意している。今後は店舗内でビジネスユーザー向けのコンテンツを配信するほか、法人契約によるVPNサービスの提供などを予定している。これがNeoMobileとしてではなく、プロントとしてやろうとしている点が非常に興味深い。秋葉原のある意味で熱心な顧客からしがかれたノウハウが今後どのように開花していくのかを期待したい。

現在サービス提供中の店舗

- ・八重洲店
- ・神谷町店
- ・プロントカレッタ汐留店
- ・リナックスプロント秋葉原店*
- ・赤坂店*
- ・豊洲店
- ・OBP店
- ・心齋橋筋店
- ・銀座7丁目店

* プリンターサービス実施店舗

3月までに東京・大阪を中心に20店舗、平成15年度末までに50店舗まで拡大予定

プロントが展開するサービスの概要

接続回線：光ファイバー

無線方式：IEEE 802.11b

料金：チケット制、NeoMobileによるISPなどからのローミング（2月上旬現在は無料）

電源：10カ所程度提供

http://www.pronto.co.jp/

【今後のサービス展開】

- ・ストリーミングコンテンツの提供（プロジェクターを使っての放映も）
- ・プリンターサービスの提供（一部店舗では導入済み）
- ・法人を対象としたVPNサービス
- ・VoIPサービス
- ・Wi-Fi Zoneの取得
- ・ACアダプターの提供



東京・赤坂

プロント赤坂大庄ビル店

急なお仕事に便利な無線スポット

営団地下鉄赤坂駅周辺はカフェの激戦区だ。スタバとタリーズはお向かいさんだし、ファーストフード店は乱立しているし、お茶をするにはまったく困らない街だ。そんな中でプロントはタリーズの2軒隣という厳しい場所に店を構えている。

無線LANの利用については、近い将来はチケットによる有料制に切り替わることになっているが、執筆時点(2月上旬)では無料だった。この記事が掲載されても少しの間は無料で利用できるはず。有料に切り替わるまではWEPも設定されていないので、無線スポット経験者なら簡単に接続できるだろう。なお、レジ横や店内の複数の場所に無線LANに関する説明パネルもある(写真1)。



(写真1)

店舗自体はそう広くはないのだが、アクセスポイントを2か所設置してデッドポイントがないようにしつつ、電波が外に漏れないように出力調整をしているとのことだ。店内どこでも電波は「非常に強い」ちゃんとつながる場所を探して、ひんしゅくを買いながら席を移動する手間がかからないのは精神的にもラクで気持ちいい。ちなみに、他の事業者の無線スポットでもここまでしっかりと運営しているところは非常に少ないので、その点ではここはよい店だと思う。電源ソケットの数は少ないが、将来は増やす予定とのことだ。

ここ一番の売りは、ビジネスマンなどに便利なカラープリンターの設置である。ドライバーをインストールする必要はあるが、事前の手続きは必要ないため、気軽に利用できる。プリンター横に置いてあるパンフレット(写真2)のとおりドライバーをインストールして、プリント出力時に決めたパスワードをプリンターのパネルに入力すると印字される。料金はA4判1枚あたり白黒で10円、カラーは30円で、レジで精算する。会員登録などをしなくてもその場で気楽に利用できるのも、いざというときに大変便利な無線スポットだ。



赤坂駅出口を出てすぐのところにある。タリーズを目印にするとわかりやすい。



プリントサービスのプリンター。説明パンフレット(写真2)が用意されている。



(写真2)



この左側奥に禁煙席がある。



レジ付近のアクセスポイント。禁煙コーナーにももう1台設置されている。

プロント赤坂大庄ビル店データ

営業時間: 7:30 ~ 23:30

(土日10:30 ~ 23:00)

住所: 東京都港区赤坂3-13-7
サクセス赤坂ビル

電話番号: 03-3586-5159

URL: <http://www.pronto.co.jp/corp/lan/>

利用方法: 2月上旬現在は無料。将来的には、チケットによる有料制へ移行予定。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp